

市内イベント訪問記

ガキアジ

10周年を迎えた

南区地域福祉交流ラウンジ

楽しく記念式典！



3月25日(土) 相模大野第一ノ2階南区地域福祉交流ラウンジで設立10周年記念イベントとしてラウンジがくまじりが開かれた。

桜の花が見えるお庭を迎えていながらあじいづくの冷たい雨。それでも会場の交流ラウンジには大勢の人が10時の開会を待っていました。

テーマは「くまじりって何だろう...」を一緒に考えようだった。式典には南区地域福祉交流ラウンジ運営協議会会長中島十尋様、相模原市南区長菅谷公貴子様、相模原市社会福祉協議会会長梅野章史様、ラウンジ運営委員会前運営委員長青木智野様の挨拶で始まった。設立当初から携わってきた青木様は「いつでも顔を出せる場を作りたい」ということで続けてきました。ここへ来て活動したり、お話ししたり、相談したり、お子様から高齢者までに楽しんでいただ



桜と「くまじり」がお出迎え

きたいと述べられました。そして「一つお願いしたいこと」と言われて会場の皆さん一緒になつて声出し力出し「ソーレ パンパン ソーレ パンパン ソーレ パンパン」とこれだけでも元気が湧いてきました。

続いて長年活動している「くまじりの会」による研修生でカンボジアとインド出身の方3名による素晴らしいスピーチ。「日本語を教えてくれた先生に感謝です。日本語を習わなかったら新しいことにも挑戦しなかったでしょう」と感謝の言葉だった。そして大人気の出前道芸。「南京玉すだれ」とそのお孫さん2人によるブレイクダンス。会場の皆さんの拍手も入って賑やかに「イエーイー」の掛け声もひびいた。外ではラウンジマルシェと称して手作り革製品の販売、焼き菓子、焼き立てパンの販売、そして野菜の販売など。賑やかに呼び込みの声も聞こえていた。福祉体験コーナーでは視覚障がい者白内障が体験できるメガネ、車椅子の体験など。活動室内の壁には登録団体の活動の様子がパネルで展示され、私達相模原ボランティア協会も「こんな活動をしています」とパネル展示で紹介をした。また会場には相模原市社会福祉協議会による子ども食堂の活動紹介コーナーがあり、お弁当の写真と共に分かりやすく展示されていた。(植野)



南京玉すだれの出前道芸



ボランティア協会の活動紹介

\*南区地域福祉交流ラウンジ  
電話 042-701-3388

クイズの答え

①子ども用車いすマーク

「子ども用車いす」は、社会的な認知度がとても低く、その外観からベビーカーと認識されることが多いのが現状です。

「子ども用車いす」は、これがないと移動できない子どもたちが使用しています。

②聴覚過敏保護用シンボルマーク

苦手な音を防ぐためのイヤーマフ(耳当て)や、聴覚過敏対策の「保護具」を使用していることを表すマークです。

\*聴覚過敏とは、会話をしている相手の声と周囲の環境音が同じ大きさで聞こえてしまったり、とても苦手な音があったりする症状です。



子ども車いす



苦手な音を防いでいます  
聴覚過敏保護用

①

これはなんのマークでしょうか。

②

クイズに挑戦